

ベターリビング 内装引戸ユニット 片引 ハンガーレール仕様

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

⚠ 施工にあたってのご注意

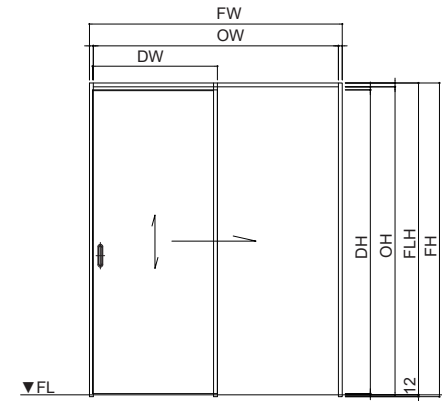
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。
- 当社の定める施工要領を逸脱しない加工および取り付けに瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマークの証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度により、保険金が支給されます。
- BL保険制度については、一般財団法人ベターリビングのホームページ(<https://www.cbl.or.jp/>)をご覧ください。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。
万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1m以上離して作業してください。

部品構成

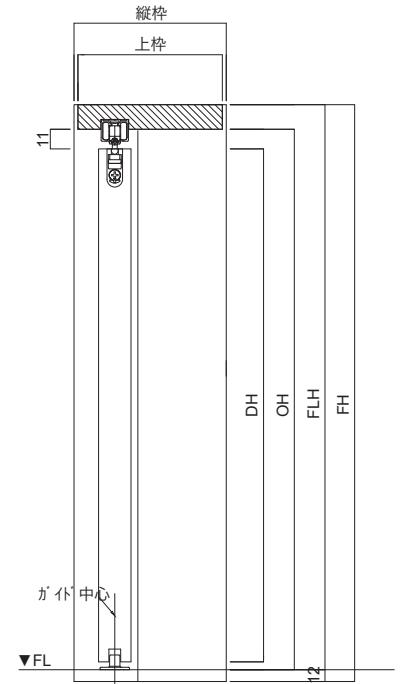
扉 梱包		枠 梱包			
扉本体 (1)		上枠 (1)			
		縦枠 (1)			
		戸当枠 (1)			
		方立枠 (1)			
		部 品 梱 包			
枠組立ビス (6)		ハンガーレール (1)			
		戸先用吊車 (1)			
		戸尻用吊車 (1)			
駆体取付ビス (16)		トリガー (2)	取付治具 (1)	振れ止めガイド (1)	
		シルバー (3.4×60mm)	※推奨ビス(ビスは同梱されていません)		

納まり図

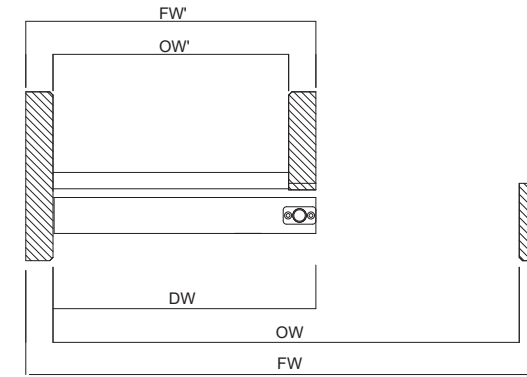
姿図



縦断面図



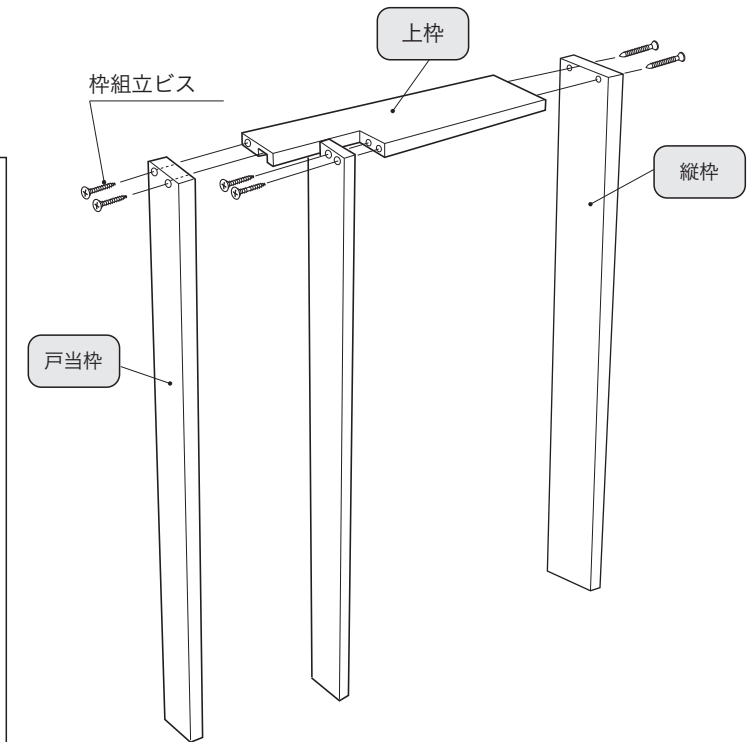
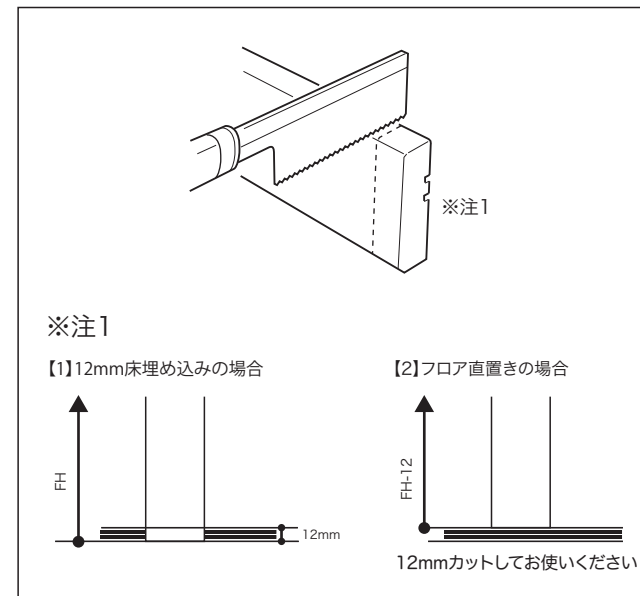
横断面図



取付け順

1. 枠の組立て

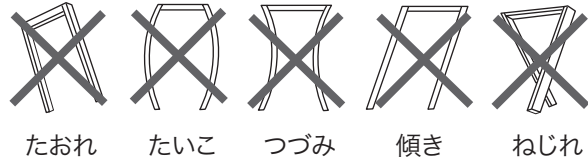
- ①縦枠は、長めに設定してあります。
ご希望の現場施工に合わせて下端をカットしてください。
- ②上枠と縦枠・戸当枠・方立枠を、枠組立ビスで締め付けてください。



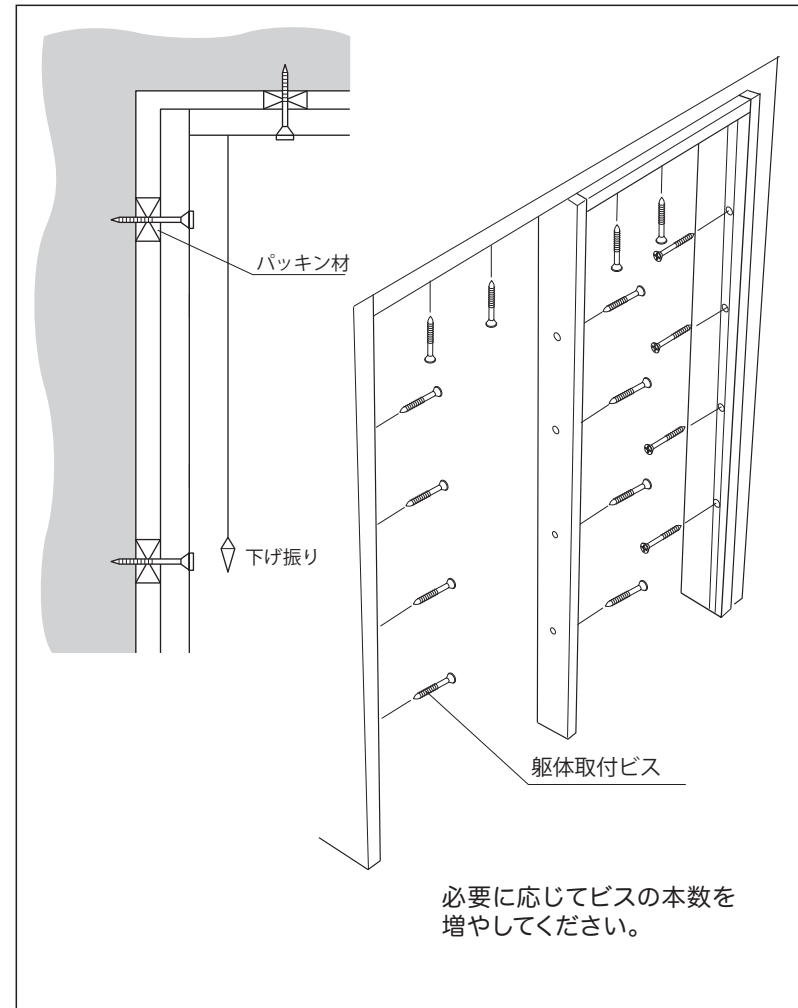
2. 枠の取付け

- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②枠を開口部に挿入し、下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- ③上枠・縦枠・戸当枠・方立枠を躯体取付ビスで開口部に固定してください。
必要に応じてパッキン材を併用してください。
- ④内法を確認し、建付け調整をしてから本固定してください。

※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



たおれ たいこ つづみ 傾き ねじれ



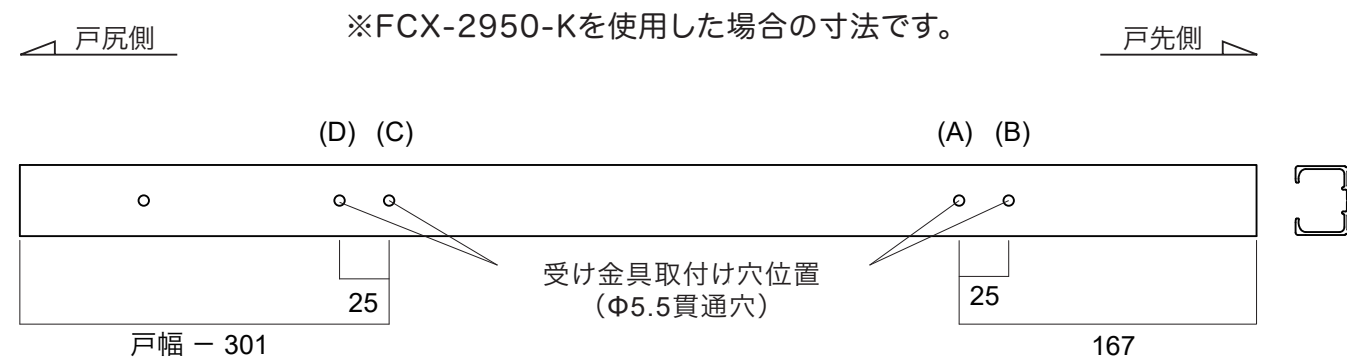
必要に応じてビスの本数を増やしてください。

3. 部品の取付け

《レールの穴あけ》

- ①レール芯の所定位置にΦ5.5の貫通穴を空けてください(4ヶ所)。

注意 レールには向きがあります。取付け向きを間違えるとソフトクローズが正常に作動しませんので必ずご確認ください。



3. 部品の取付け(続き)

《吊車の取付け》

- ①結合ねじをゆるめて、固定カップ部とホルダー部を分離し、固定カップのみ扉加工部に取り付けてください。

《レールの取付け》

- ①スライダーが図の位置になっているか確認し、なっていない場合は押し戻してください。

注意 ソフトクローズを正しく作動させるために、必ず確認してください。

- ②レール取付けの前に、図の方向で吊車をレール内に挿入してください。

- ③上枠にレールを取り付けてください。

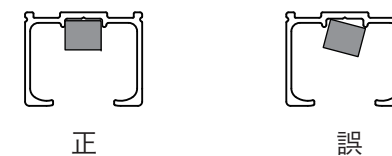
注意 扉の荷重でレールがはずれないよう、しっかり固定してください。

《トリガーの取付け》

- ①トリガーを取付治具にセットしてください。
- ②レール内部に取付治具を押し込み、戸先用の場合:穴(A)、戸尻用の場合:穴(C)にビスで固定してください。

注意

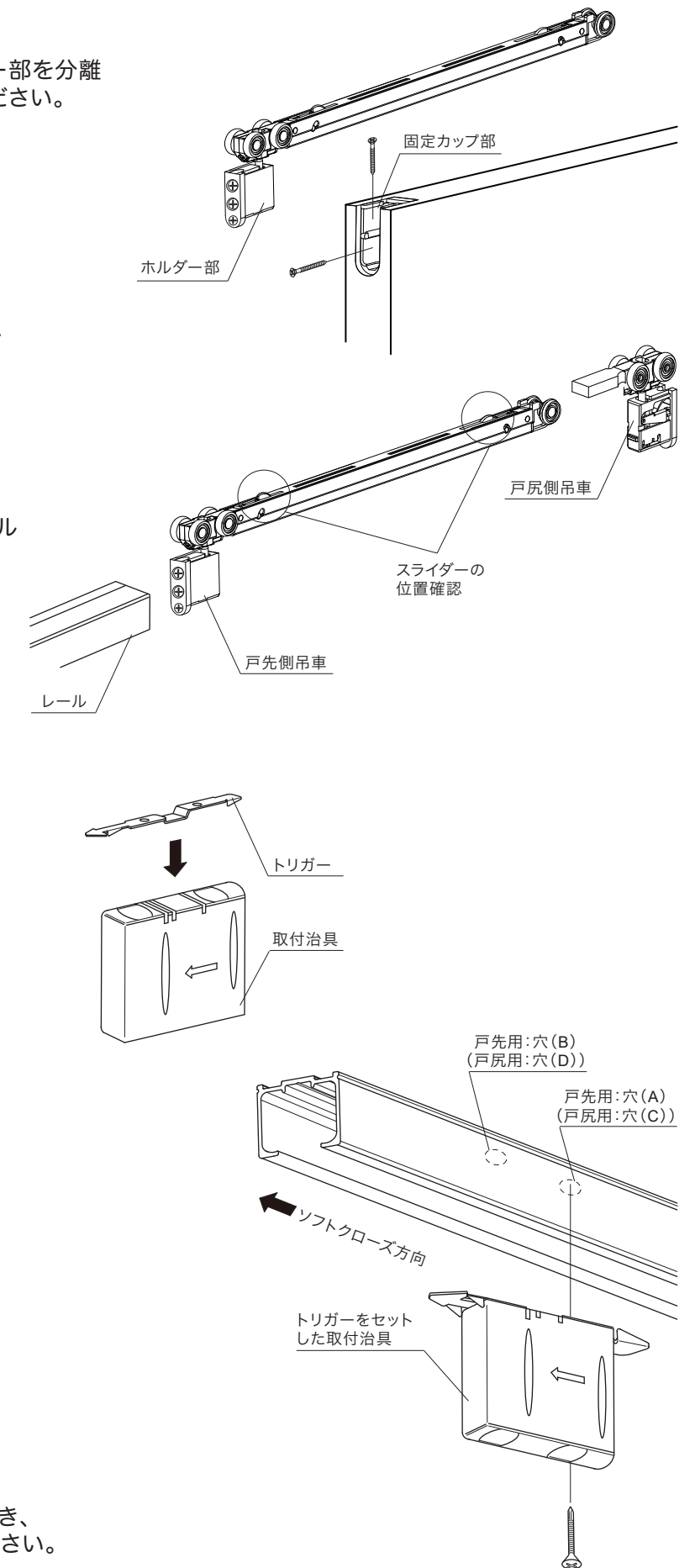
- 取付治具は、トリガーが完全に固定されるまで押し当て続けてください。
- トリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



注意

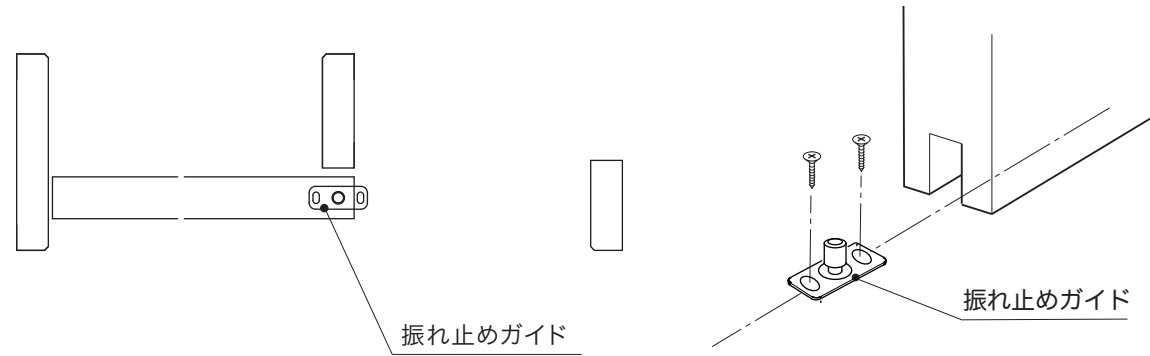
- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でビスを締め付けると、トリガーが変形します。

- ③完全に固定されたら、取付治具を下に引き抜き、残りのレール穴(B)・(D)をビス留めしてください。



4. 振れ止めガイドの取付け

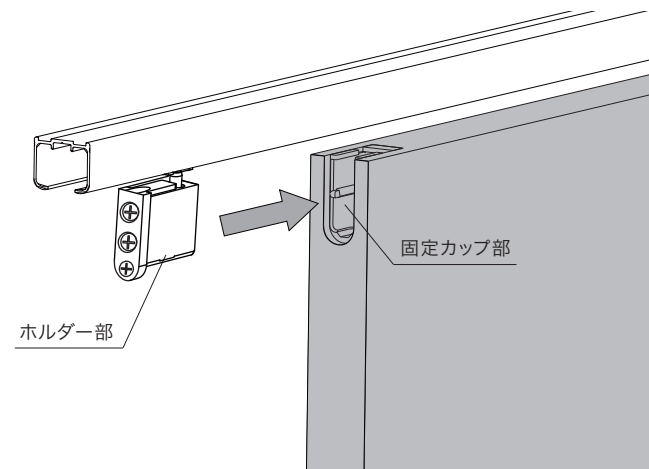
①振れ止めガイドを所定の位置に取り付けてください。



5. 扉の吊込み

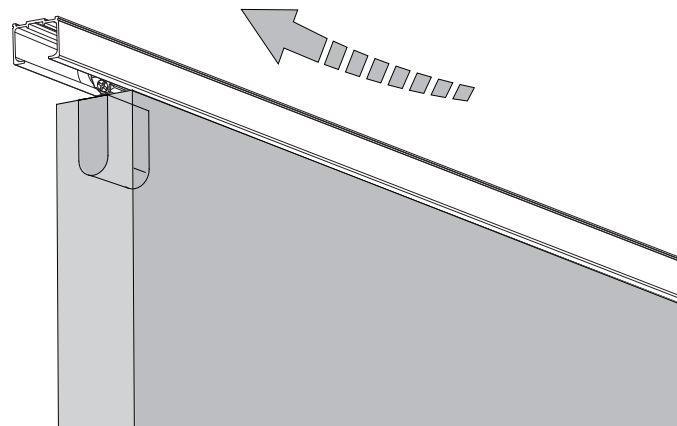
①振れ止めガイドに扉下部の溝を差し込んでください。

②固定カップ部にホルダー部を差し込み、結合ねじを締めて固定してください。



※真横から上ローラーをスライドし、セットしてください。

③扉の吊込み後、ゆっくりと扉を閉じ、ダンパーが作動することを確認してください。

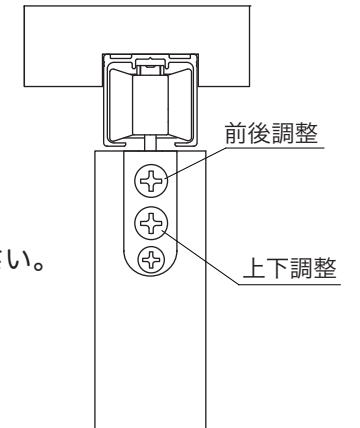


6. 建付け調整

①吊車で、扉の上下・前後調整ができます。

※トイレ用の片引には、鎌錠が標準で付いています。
鎌錠のかかりが悪い時は、枠側受の調整と戸車の上下調整を行ってください。

注意 調整範囲以上回さないでください。破損の原因となります。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆全ての部品が取り付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付ネジが所定の位置に取り付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタつきがないか確認してください。
- ◆扉の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

<お手入れ方法>

- お手入れは、柔らかい布を、水でうすめた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れを落とし、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。

<使用上のご注意>

- 扉の近くでストーブなどのご使用はお避けください。
(扉が反ったり、表面がゆがんだりする原因になります。)
- 扉や枠の清掃には、シンナーなどの薬品を使わないでください。